

大切な自動車を窃盗犯から守りましょう

2月の防犯対策



令和5年2月1日発行
（公社）滋賀県防犯協会



県内で自動車盗が倍増

高級車を相次いで盗むなどしたとして県警で高島市の容疑者ら3人が逮捕されたことが昨年11月に報道されました。

逮捕容疑は、昨年4月国産高級車レクサスなど2台を盗んだということですが、肝心なのは、

『車はいずれも当時施錠されていたにもかかわらず、車の信号を読み取る解除機器を使用し短時間で犯行が行われた』

ということです。
昨年9月にはSUV車やハイブリッド車を相次いで盗んだ同様の犯行グループ8人が逮捕されており、昨年1年間で合計71件の自動車盗が発生し、令和3年から倍増しているのです。

京都、大阪、兵庫、愛知といった周辺府県でも自動車盗が増加しています。

盗難防止器具の活用

解除機器があっても盗まれないためには盗難防止器具の活用が最も有効です。

自動車にはハンドルやタイヤを固定する「ハンドルロック」「タイヤロック」などを活用し、物理的に動かせなくなることで犯人に犯行をあきらめさせることができます。

盗難防止器具は、カーディラーやカー用品

店等で5千円くらいから購入できます。

ハンドルロック



タイヤロック



その他の防止対策

- ドアロックを確実にしましょう
- ガレージや駐車場には、防犯カメラやセンサーライトを活用しましょう（自宅ガレージにゲートやシャッターがある方は、駐車時には必ず鍵をかけて締めましょう）
- 自動車にGPS装置を設置しておくことで、万が一盗難被害にあった場合でも位置情報から、のちに自動車が発見されることがあります。

ナンバープレート盗難多発

● 昨年の部品ねらいは、一昨年の1.5倍に増加しており、自動車窃盗グループが、ナンバープレートを盗んで悪用していることがわかっています。

簡単に外せない盗難防止機器として特殊ネジ（防犯ネジ）が安価であり、活用すれば被害防止に有効です。



車上ねらいの連続発生

今年に入って大津市内のマンションやアパートの駐車場でゴルフバック、ETC、ドライブレコーダーなどが盗まれる車上ねらいが連続発生しました。また、昨年7月末には米原市内の一般民家の駐車場で財布などの貴重品が盗まれる車上ねらいが連続発生しています。

大津市内の被害は、いずれも車は施錠されており運転席や助手席側面の三角窓などを割ってドアを解錠されており、米原市内の被害はいずれも車は無施錠の状態でした。

- 車を離れるときは必ず**ドアロック**。（止める時間が短くても）
- 貴重品などは持ち出して車内を空っぽに。
- センサーライトや防犯カメラの設置など管理された駐車場を利用する。
- 衝撃感知式警報機、通報装置の設置などの対策を取りましょう。

特殊詐欺対策サービス【半額補助】

昨年の特殊詐欺被害は132件、被害総額は3億円を超え、7割は高齢者被害となっています。詐欺電話は今年も続いています。

特殊詐欺対策サービスは固定電話に専用のアダプタを接続することによって、かかってきた電話のたまし文句をAIが判定してご家族や知人に危険を通知する仕組みになっております。サービスを受けるにはN.T.T.の電話回線である必要がありますが、気軽にお問い合わせください。

（公社）滋賀県防犯協会事務局

☎077-525-6529